

【上演作品紹介】

1. プラマイテイルズ（尾道北高等学校）【創作脚本賞】

いつか聖剣を扱う青年が現れ、勇者となり魔王を倒しにいくだろう——そんな伝説がまことしやかに囁かれるとある国の話。数百年もの時が流れ、国で行われる儀式で聖剣を扱える青年が遂に現れた。その青年の村に突如現れた魔法使い。勇者となった青年と魔法使いの2人は、伝説の通り魔王を倒すために旅に出る。正義感の強い勇者と、どこか掴みどころのない魔法使い。少しチグハグる2人は魔王を倒すことができるのか！？



2. 人間でいたかった（三原高等学校全日制）

国王の洗脳の下、自殺が圧倒的悪であるとされたとある国での物語。事の発端は、死にたい者が集まる場所へ、一人の男が紛れ込んだことから始まった。非国民と愛国者。彼らはなぜ死のうと思うのか、彼はなぜ生きようとするのか。あなたは、どちらが「善」だと思いますか？



3. 天使の声が聞こえたら（尾道商業高等学校）【優秀賞】

自分の声が「近頃の人間には届かなくなった」と悩む天使。そこに悪魔が現れ、「天使や悪魔がちゃんと働けるフツートの世の中にしよう」ともちかける。二人はまず手始めにブラブラしていたマユを更生させようとするが、天使は相手にしてもらえず……。今年は、部員が1年生のみという不安な状況の中での出演となります。他校に負けないような心に残る演技をします。では、舞台の上で会いましょう！



4. 東海林さんを待ちながら（三原高等学校定時制）

これは、フランス人作家サミュエル＝ベケットの「ゴドーを待ちながら」という作品から着想を得た話です。会社勤めの中年男性浦上と遠藤は、今日もいつもと同じように出勤し、いつもと同じように仕事をする。仕事のことなら何でも知っている東海林さんと、仕事に関する指示を出す部長を待ちながら。やがて、勤務時間終了を告げるチャイムが鳴り、二人は帰っていく。



5. ある木曜日のほんの少しの物語（三原東高等学校）

ある木曜日。会社員の天城は、公園のベンチで萌愛という女性と出会う。毎週木曜日になると、そこで会う二人。天城の恋人との相談を聞く萌愛。会社の年上の後輩や萌愛を巻き込んで、ストーリーはほんの少しだけ「ごちゃっ」としていく。



6. ENGI（イー・エヌ・ジー・アイ）（尾道学園尾道中学校・高等学校）【最優秀賞】

コロナ禍が続いている、日本のとある高校。色々な活動に制限のある中、それでも日常は続いていく。田坂と前田は幼なじみでいつも一緒。しかしある出来事がきっかけでその関係に綻びが……。一方、森下と伊藤はクラス内の秀才グループ。派手な森下は、ちょっと引っ込み思案で口べたな伊藤を従えている。田坂と森下の二人が、クラスの二大巨頭。今日も争いの火ぶたが切って落とされる。この争いを、未然に阻止するため Electric brain Network Grand Information 計画が、始動する。

